

予算決算委員会総務市民分科会 会議録

日 時 令和4年6月16日（金曜日）

午前11時40分開会 午前11時55分閉会

場 所 第1委員会室

日 程

1 開 会

2 委員長挨拶

3 協議事項

（1）議案の審査

議案第38号 令和4年度土浦市一般会計補正予算（第2回）～第1表歳入歳出予算補正中歳出中第2款（総務費）、第8款（消防費）

4 閉 会

出席委員（7名）

委員長 今野 貴子

副委員長 吉田 博史

委 員 久松 猛

委 員 吉田 千鶴子

委 員 海老原 一郎

委 員 篠塚 昌毅

委 員 島岡 宏明

説明のため出席した者（5名）

市民生活部長 真家 達成

消防長 鈴木 和徳

消防次長 檜山 保明

市民活動課長 佐野 善則

消防総務課長 磯山 公奉

事務局職員出席者

主 任 津久井 麻美子

傍聴者（0名）

○**今野委員長** ただ今から、予算決算委員会総務市民分科会を開催いたします。それでは、付託された議案の審査に入ります。議案第43号令和4年度土浦市一般会計補正予算（第4回）～第1表歳入歳出予算補正中歳出中第2款（総務費）、第8款（消防費）を議題といたします。サイドブックスは、総務市民委員会、令和4年、6月16日開催のフォルダの資料4をお開きください。それでは、第2款総務費について、執行部より説明を願います。

○**佐野市民活動課長** それでは、サイドブックスの資料の4、議案第43号令和4年度土浦市一般会計補正予算（第4回）についての女性のための寄り添い支援事業をお願いいたします。はじめに、1の今回の補正の理由ですが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、社会的に孤立し、困難や不安を抱える女性に、社会全体で手を差し伸べることを目的に、国の地域女性活躍推進交付金を活用し、既存の相談業務ではできなかったSNSでの相談や電話相談、対応時間の拡大、NPO等の知見を活かしたアウトリーチ型支援、居場所の提供等、個人に寄り添ったきめ細かい支援を実施するため、行政とNPO等が連携し、支援の充実を図るための事業に係る委託料等の費用について、増額補正をお願いするものです。つづいて、2の補正予算額です。歳出につきましては、2款総務費、1項総務管理費、14目男女共同参画推進事業費、7節報償費としてセミナー等の開催に係る報償費が80万円、10節需用費として、事業のチラシ作成に伴う印刷製本費が20万円、12節委託料として、相談業務等を実施するためのNPO等への委託料が600万円、合計で700万円の増額補正をお願いするものです。つぎに、3の補正予算の内容についてですが、直営で実施する復職支援セミナーや事業の周知啓発等と、委託で実施する各種相談事業や実態把握の調査等がございます。委託事業者の選定につきましては、当該業務の受託候補者を公募し、プロポーザル方式により事業者を選定してまいりたいと考えており、事業の開始は9月1日からを想定しております。4の財源につきましては、内閣府の令和4年度地域女性活躍推進交付金を活用するもので、総事業費700万円のうち、4分の3の525万円が交付金として交付されますが、2の補正予算額の一番下の※印に記載がございますとおり、この交付金を受けるためには、総事業費の4分の3以上をNPO法人等民間団体に委託することが条件となっております。市民活動課からの説明につきましては、以上でございます。よろしく願いいたします。

○**今野委員長** ただ今の説明について、何か御質問はございませんか。

○**吉田（千）委員** 困難を抱える女性にこの事業をやりますよと。そして、手を挙げていただくということがとても大事になると思うんですが、事業周知啓発ということにも関わるかと思うんですけれども、どのようにご本人がこのことを知って、手を挙げていただける体制になるのか、まず一点お伺いいたします。

○**佐野市民活動課長** PRの方法でございますが、広報紙もしくはSNS等の発信はもちろん、チラシを作成いたしまして、高校や大学等の学園祭等も開催されると思いますので、そういった所でチラシを配布するとともに、生理用品も一緒に箱に入れて配布をして、こういった相談をやっていると、気軽に御相談くださいというようなPRを考

えております。以上です。

○吉田（千）委員 ありがとうございます。この事業は何人くらいを予定しているのか、またNPO法人については、もし決まっていればその点もお伺いしたいと思います。

○佐野市民活動課長 受託事業者につきましては、今後ホームページ等で募集をかけまして、プロポーザル方式により選定をしてみたいと考えております。

○吉田（千）委員 この事業について、どの程度の人数を募集して行える事業になっているのか、何名くらいを予定されているのかについてもお伺いします。

○佐野市民活動課長 人数の想定については、今のところ実施はしておりませんが、今現在、女性のための相談事業というのが月2回の一般相談と、月5回のフェミニスト相談しか実施をしていないような状況ですので、そういった相談業務の時間や曜日の拡大、そういった対応を行うことで、相談していただける方を増やしていければと考えております。以上です。

○海老原委員 もう既にこの二年半、社会的に孤立とか困難や不安を抱える女性はいると思うんだよね。今言ったフェミニスト相談とか、その辺の実績を教えてください。

○佐野市民活動課長 一般相談につきましては、昨年度は1件、フェミニスト相談が令和3年度が76件、令和2年度が104件。やはりコロナ禍であったということもありますが、少し前になりますが、平成29年度に関しては150件ほど相談の方は受けております。以上です。

○久松委員 ざっくりでいいんですが、どんな相談が寄せられるんでしょうか。

○佐野市民活動課長 具体的にはDVの相談であったり、子育ての相談、就業に関する相談を想定しております。市の方では、委託を出す際にハローワーク等への同行支援等も委託内容に入れて支援の方を実施してみたいと考えております。実際、実態調査を実施しておりませんので、この業務委託の中でもそういったものを把握していきたいと考えております。

○今野委員長 今後実態調査をした方がよろしいのではないかと思いますので、御検討をお願いいたします。

○佐野市民活動課長 この委託事業の中で、調査の方を実施してみたいと考えております。

○久松委員 委託事業の中の居場所の提供というのはどういうことですか。

○佐野市民活動課長 同じ境遇の方たちが集まれるようなそういった場所を想定しております。

○篠塚委員 女性のための寄り添い支援事業は、事業の終わりが令和4年度末ということなんですが、今後どのように展開していくのかというのがあれば、お聞かせください。

○佐野市民活動課長 寄り添い支援事業については、昨年度から実施している事業なんですけど、今年度も引き続き実施をしていただけるということで、土浦市の方で手を挙げさせていただきました。応募している他市町村を見ますと、二年続けて実施をしている

ような市町村もございますので、今回の結果を踏まえた上で、来年度も採択されるようであれば、交付金を活用した形での事業実施はしていきたいと考えております。

○今野委員長 ほかに何か御質問はございませんか。

(「なし」という声あり)

○今野委員長 つぎに、第8款消防費について説明を願います。

○本橋警防救急課長 サイドボックスの資料5、議案第43号令和4年度土浦市一般会計補正予算(第4回)消防団の力向上モデル事業を御覧ください。本補正は、消防団の力向上モデル事業という事業となります。1の補正理由ですが、災害の多発化・激甚化により消防団活動の重要性が増しているなか、全国的に消防団員の減少が続き、団員の確保及び地域防災力の充実強化は、喫緊の課題となっているところです。こうした状況を踏まえ、総務省消防庁において社会環境の変化に対応した消防団運営の普及・促進を検討するため消防団員の力向上モデルとして、各自治体に国費による事業の募集があり、本市の事業が採用されたため増額補正するものです。2の事業の概要は、消防団長のほか、副団長5名、方面隊長など15名、分団長39名の計60名にタブレット型端末をそれぞれ配布いたしまして、(1)消防団事務のデジタル化の推進、(2)ペーパーレスによる経費削減及び環境保護、(3)会議、イベント等の事前の情報共有、(4)チャット機能により団員の意見を取り入れ、活動環境の改善などを行うことで、消防団員の負担を軽減するなど、魅力ある組織を構築し、団員の増員につなげる事業とするものです。具体的には、フロー図を御覧ください。事務局から、事前に会議や活動に関する資料等を送信し、資料等を受けた各団員等は、資料の内容をしっかりと確認でき、また、意見等がある場合は、内容を送信することで、課題の早急な解決が見込まれます。さらに、他の団員も閲覧できることにより、情報を共有することが可能となります。従来のような会議等で初めて確認できた資料や、活動内容を事前に確認ができることで、効率がよい消防団運営になることが期待されます。次ページを御覧ください。3の補正予算額は、10節需用費、補正額は176万9,000円となり、補正後の額が476万2,000円となります。4財源は、全額総務省消防庁国庫委託金となります。5整備品は、画像のような10.1インチ、メモリ3ギガバイト、ストレージ32ギガバイトのシムフリー型のタブレット端末を計画しております。また、10.1インチは、画面対角線の長さが25.654センチメートルとなりまして、委員の皆様は、10.2インチですので、若干小さめとなります。持ち運びの容易な点や価格を考慮し、選定いたしました。整備品の更新につきましては、約5年を考慮しております。費用は消防団の運営補助金での対応を予定しております。また、通信に関しましては、年間0.1ギガバイト程度の使用と想定しております。配布予定の60名中、Wi-Fi環境がある団員57名につきましては、Wi-Fiを使用しての通信とし、Wi-Fi環境がない3名の団員に関しましては、シム等を消防団運営補助金で購入し、使用することを分団長会等で了承していただいております。本事業は、全国81の自治体から応募があり、37自治体の事業が採用となっております。警防救急課からは以上でございます。

○今野委員長 ただ今の説明について、何か御質問はございませんか。

(「なし」という声あり)

○今野委員長 質問もないようですので、総務市民委員会分科会としての賛否を確認いたします。議案第43号令和4年度土浦市一般会計補正予算(第4回)～第1表歳入歳出予算補正中歳出中第2款(総務費)、第8款(消防費)について、原案どおり賛成とする方は挙手をお願いします。

(久松委員・吉田(博)委員・吉田(千)委員・海老原委員・篠塚委員・島岡委員)

○今野委員長 全員賛成でした。予算決算委員会総務市民分科会の審査は、以上でございます。ありがとうございました。